

「夢＝挑戦」から「高き夢＝実現」へ

宮崎県立宮崎大宮高等学校進路便り 第1号

平成23年4月23日

平成23年度大学入試結果報告

国公立大学288名（現浪）合格（東大1名・九大23名）、医学部15名

PTA総会の資料にもありますが、改めて平成23年度大学入試の結果をお知らせします。

1 国公立大学入試結果

現役生、既卒生合わせて**288名合格**という結果でした。主な大学では、東京大学に1名（現役1名）、九州大学に23名（現役17名）、宮崎大学に53名（現役45名）が合格しました。

2 私立大学入試結果

現役生・既卒生合わせて298名合格しました（私立大合格者は延べ人数です）。主な大学では、早稲田大学に8名（現役6名）、慶応大学に3名（現役1名）、明治大に20名（現役18名）、立命館大に26名（現役21名）合格しています。

3 今年の入試を振り返って

（1）3年間の成長の成果

3年間の系統的な積み重ねが重要であることを毎年のように感じます。1学年における志望の追求、2学年における決意固め、3学年における出願確定という流れをひとつひとつ確認できるとよいと思います。そしてその過程で学ぶことを一つひとつ確実に自分のものにする、それが自分の「高き夢＝実現」へと繋がっていくでしょう。



（2）基礎基本の徹底と確認の繰り返し

学力において最も重要なことは基礎基本です。基礎基本がしっかりしていれば応用することができます。それにはもちろん、1学年からの基礎基本の積み重ねが必要です。日頃の反復練習を工夫しながら定着をはかることが大切です。

（3）センター試験の重要性

今年の入試でも、センター試験の重要性を改めて感じました。センター試験が昨年度の難化傾向から回復しましたが、基礎基本の定着度によりセンター試験の得点に大きな開きが出ました。2次の配点が高い大学でも、しっかりとセンター試験で得点できなかった受験者は2次での逆転ができないということです。基礎基本の重要性をもう一度確認しておきましょう。

★★ 進路関係情報 ★★

今年を進路指導部の方針についてお知らせします。

○キャッチフレーズは今年も「夢＝挑戦」から「高き夢＝実現」へ

生徒の皆さんに積極的に様々な提言や情報提供をしていきます。自らの人生の選択を積極的に行い、進路についてしっかりと考え、一日一日やるべきことをやっていきましょう。

○「自主自律」がキーワード

この校是は宮崎大宮高校の様々な場面で使われていますが、学習面において実践されているでしょうか。自分の進路目標達成にとって何が必要なのかしっかりと考え、自分がやるべきことを自分の意志で実践してほしいと願っています。その結果「自分が行ける大学」ではなく「自分の行くべき大学」に合格し、自分の将来の夢に繋げていきましょう。

○「人間力」向上へ努力

学力は決して勉強だけでつくものではありません。学習を支える様々な要素があって初めて勉強した成果が形になります。学校でいえば、5教科だけでなく芸術や体育・家庭等で学ぶことが大変重要です。また、読書によって身につけられるいわゆる「教養」もまた様々な場面で学力の一部となります。もちろん、部活動や生徒会活動、学校行事で学べることの価値は計り知れません。そのような諸々の活動が一人の人間を作り上げている、それを「人間力」と呼びたいと思います。

★★ 進路関係情報 2 ★★

昨年もお知らせしましたが、平成20年8月5日に文部科学省から「大学入試センター試験の出題科目の選択範囲等の変更について」が出され、現3年生のセンター試験から、地理歴史・公民と理科が変更ということになります。現在わかっている情報は以下の通りです。

○改正前(卒業生)

○改正後(現3年生以降)

教科	グループ	出題科目	試験時間	教科	グループ	出題科目	試験時間
国語		『国語』	80分	国語		『国語』	80分
地理 歴史		「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 ※1科目受験可	60分	地理 歴史 ・ 公民		「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」(新設) ※最大2科目受験可 (同一名称、同一名称を含む教科同士は選択不可) (出願時に科目数を登録)	60分 又は 120 分
公民		「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 ※1科目受験可	60分				
数学	①	「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』	60分	数学	①	「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』	60分
	②	「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	60分		②	「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	60分
理科	①	「理科総合B」「生物Ⅰ」 ※1科目受験可	60分	理科		「理科総合A」 「理科総合B」 「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」 ※最大2科目受験可 (出願時に科目数を登録)	60分 又は 120 分
	②	「理科総合A」「化学Ⅰ」 ※1科目受験可	60分				
	③	「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 ※1科目受験可	60分				
外国 語		『英語』『ドイツ語』 『フランス語』『中国語』 『韓国語』	筆記 80分 リスニン グ(英語) 30分	外国 語		『英語』『ドイツ語』 『フランス語』『中国語』 『韓国語』	筆記 80分 リスニン グ(英語) 30分

また、これに伴い、各国立大学の地理歴史・公民の選択に関する入試科目が公表されています。発表されている大学の状況では概ね次のパターンに分けられます。①地歴・公民は4単位科目のみの設定、②4単位科目+「現代社会」を選択科目として設定、③2単位科目を選択科目に含む設定、④学部(学科)により対応が異なる大学。詳しくは各大学の入試科目を自分で確認して下さい。またセンター試験の実施要領についてはまだ発表されていません。なお最終的に志望校の変更もあり得るので、4単位科目に対応するような学習をしておく必要があるでしょう。

☆☆ 進路関係行事 ☆☆

○4月26日(火)より、朝課外が開始。朝課外は7時25分着席完了です。

朝は1日のリズムを決定します。毎日のリズムができるとその後の授業も効果が倍増します。

○中間考査近づく

5月18日(水)より3日間、中間試験が実施されます。1年生にとっては初めての定期試験となります。本校では定期試験を授業の確認と基礎基本の定着として位置づけています。授業や課題の内容を消化していれば少しも恐れることはありませんが、しっかり復習して臨みましょう。

○実力考査の変更

今年度より校内実力考査の回数を減らしました。定期考査、実力考査、校外模試などが連続しており対策・やり直しが疎かになっていた現状を変えるためです。廃止したのは4月、9月の2回で、第1回(3年は県進学模試)を6月、第2回(3年は県進学模試)を10月、第3回(2年は県進学模試)を1月に実施します。ひとつひとつをもっとしっかりと取り組んでほしいと考えています。